

Jを多言語の目から見てみよう J with Multilingual View of Programming Language

西川 利男

これまで、数多くのさまざまなプログラミング言語が現れ、あるものは現在も生き残り、またあるものは消えていった。

視点を一度、Multilingualなる広いところに置いて、あらためてJを見て見よう。

今では、かなり古いがいろいろなプログラミング言語を挙げて、比較してみる。

言語	コンピュータ環境			得意とする適用分野
	パソコン	ミニコン	大型コンピュータ	
BASIC	←—————→			科学技術処理, 事務処理
FORTRAN	←-----→			科学技術処理
COBOL	←-----→			事務処理, データベース
PL/I	←————→			システム処理, 事務処理 データベース
Pascal	←————→			科学技術処理, アルゴリズム
C	←-----→			システム処理, 通信処理 科学技術処理
Ada	←————→			システム処理, 科学技術処理
FORTH	←————→			システム処理, 機器制御
APL	←————→			科学技術処理, 事務処理
LISP	←————→			機械翻訳, 人工知能
PROLOG	←————→			人工知能
Smalltalk	←————→			人工知能

表1 コンピュータ言語の適用範囲

西川利男「プログラミング言語入門」HBJ 出版局(1990).

- プログラムの視点 vs ユーザの視点
プログラムをどう格納する？
Type(型)へのこだわり—Jは型なしの言語
メモリとファイル
- インタープリタ言語 vs コンパイラ言語
BASIC, J, LISP vs C, FORTRAN
アセンブラーの視点 名前 vs 値、機能、属性
- 関数型言語 vs 手続き型言語
APL, J, LISP, C vs COBOL, FORTRAN, Pascal, BASIC, Java
- データ vs 処理
Data, Value, Object
Operation, Function, Procedure, Routine

Jにおける哲学 名詞と動詞

- データ (名詞)
文字列
数値
Jでの数字と数値…… 2(名詞) vs 2:(動詞)
- 処理、関数 (動詞、副詞、接続詞)
- Jのプリミティブ
数値演算の動詞
文字列演算の動詞
- Jのユーザ定義
explicit 定義 引数を明示する……片側引数関数、両側引数関数
tacit 定義 引数を明示しない…… fork, hook
- Jの名詞と動詞に対しての形 (shape) とランク (rank)
APLにおけるスカラー関数と混合関数
- Jで出来る新しいプログラミング手法
文字列の実行 ” . execute = LISP の EVAL 関数
正規表現 (Regular Expression) = Perl
オブジェクト指向 (Object Oriented Programming)
= Java, C++, Excel-VBA
Grid (スプレッド・シート) = Excel
OpenGL 3D グラフィックス = C++

Jとどう付き合うか J4, J6, J8

- パーソナルなものづくりのための情報処理ツール
 - 数学計算… …… 統計計算
 - 微分方程式の数値解
 - グラフィックス …… OpenGL 3Dグラフィックス
 - カオス、フラクタルのグラフィックス
 - 整数多桁計算 …… 整数論
 - 群論… …… ルービック・キューブ
 - パズル・プログラミング
 - Grid 処理 …… パーソナルなスプレッド・シート
 - Excel とのやりとり
- グローバルな利用



いま、IT ツールとどう付き合うか

- 入出力のユーザインターフェースから見て
 - ケイタイ… …… 電話でモシモシ Eメール キー入力=まあまあ
 - カメラで写真撮影
 - スマホ… …… ディスプレイからのキー入力
 - タブレット… …… ディスプレイ=多機能化 キー入力=退化
 - Web アプリを実行する端末
 - インターネット・サーフィン
 - ゲーム
 - パソコン… …… ディスプレイ=健全 キー入力、マウス入力=健全